



# Hello, Amy ハロー、エイミー

## 「だれそれむら」の生活 Life in "Dare-Mura"

Dr. Seuss is an American author of children's books, one of them being "The Cat in the Hat". He made into a movie, featuring a community of people in a small town that -- our own secret -- exist, our island appears to be in the Inland Sea. But if you get close, all 7 km of it, you'll find it prospering. Like "Whispering Willows" in "Dare-mura" everyone helps each other. It is rich, but no one can afford to have gardens while others are busy with what is happening. People here would ever dream of a life like this. It's beer or a homebrewed beer hundreds of years. Dare-mura does do so much for the islanders bring their vehicles as a retirement home. When I first came to Iwano, the bar at the Bar gave me a scooter, also by a guy named hmmm, a guy at the bar named hmmm, a guy at the bar named hmmm. We who live in Dare-mura are in a modern world, a place where you can have a comfortable living here. I would like to steal someone's truck. I went back to drive it. I was very happy. In Dare-mura, we settled it with a beer.

ドクター・スースは多くの魅力あふれる作品を描いたアメリカ人絵本作家です。彼の作品のひとつ「ぞうのホートンひとだすけ」は、ぞうのホートンがホコリの中に住む小さな住人を見つけるお話で映画にもなりました。白石島もそんな島で自分たちだけの秘密結社。私たちの存在を知らない外部の人には瀬戸内海に浮かぶ何百とある島のひとつにすぎないのです。

しかし、もし時間をかけて全長7キロのこの島の世界を注意深く見てみたら、全てのコミュニティーが一緒になって働き、成功していることがわかるでしょう。ホコリの中に住む小さな住人のように、この「だれそれむら」では、すべての住人が質素で気取らず、ステキな生活を送るために互いに助け合っているのです。魚釣りをしている人もいれば、庭仕事をしている人、ご先祖さまの供養をしている人、そして島の出来事を書いている人がいます。島の人たちは互いに頼まれたことは快く引き受け、お礼にビールや手作りケーキをもらうことはあっても、ほかに見返りを期待することはありません。私たちの島社会はこんなふうは何百年もの時を重ねているのです。

「だれそれむら」は日本の中でも大切な役割を担っています。本土からはこの島へ中古車両がたくさん持ち込まれます。「だれそれむら」は、中古車の退職後の受け入れ先として役に立っているのです。

私が「だれそれむら」に来た当初は、自転車さえ持っていませんでしたが、バーにいた人に本土からの中古自転車をもらい、次にまたバーにいた人にスクーターをもらい、とうとうトラックまでも、これまたバーにいた人にもらいました。ごく最近もらったものといえば釣り船。その人はバーにはいませんでしたが、お礼のウイスキーを受け取っただけで、ほかには何も請求しませんでした。

「だれそれむら」で暮らしている私たちにとって、新車は現代世界に住むための物。しかしときに、私がガレキに囲まれた快適すぎる生活をしていなければならぬ。どうしていたかなど思うことがあります。

つい最近、私は人のトラックを盗もうとしているのに気づきました。私は船乗り場に駐車していた自分のトラックに乗り、家へ戻るとそれは人のトラックでした。幸いにも、そのトラックの持ち主は私のしたことを理解してくれ、「だれそれむら」の習慣であるように、ビールで和解したのでした。

※原文は、笠岡国際交流協会のホームページ (<http://www.k3.dion.ne.jp/~kiea/>) に掲載されています。



介護保険は、国・県・市が負担する公費と、40歳以上の皆さんに納めていただく介護保険料を財源に運営される、社会全体で支えあう制度です。もし、介護保険料を納め忘れていたり、その滞納期間に応じて、介護保険サービスを利用するとき給付の制限（自己負担の増加）があります。

### 保険料を滞納するとどうなるの??

介護保険サービスを利用するときの利用者負担は、通常はかかった費用の1割です。

### ●一年以上滞納すると

↓利用者が費用の全額を支払い、市への申請により後から9割分が払い戻されます。

●一年六カ月以上滞納すると  
↓利用者が費用の全額を支払い、後で市へ申請しても、保険給付の一部が支給差し止めになったり、滞納している保険料と相殺されます。

●一年以上滞納すると  
↓利用者が負担が1割から3割に引き上げられ、高額サービス費の支給も受けられなくなります。

### 納付が困難なときは、ご相談ください

いざ、介護保険サービスを利用しようというとき、困らないために、介護保険料はきちんと納めましょう。

◎災害などによる財産の著しい損害や収入の著しい減少により、介護保険料を納めることが困難なとき、介護保険料の徴収猶予や減免を受けられる場合があります。

◎介護保険料第一段階または第二段階の人で、生活が著しく困窮している人には、笠岡市独自の特別減免制度があります。

問合せは  
介護保険課  
☎21-6061